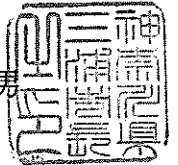


浦 収 第 3 4 7 5 号

平成20年10月17日

国土交通省道路局長 様

神奈川県三浦市長 吉田 英男



今後の道路行政についての意見・提案について（回答）

日頃より、当市の道路行政に御理解、御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、平成20年9月19日付け国道企第37号をもって、貴職よりご依頼のありました標記の件について、別添のとおり回答いたします。よろしく願いいたします。

事務担当：計画整備課

T E L : 046-882-1111 内線 273

F A X : 046-882-1161

今後の道路行政についての意見・提案

様式①

神奈川県三浦市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

- ・道路は、自動車専用道路、片側数車線の高規格道路、未舗装の道路など様々な形態がありますが、道路を全体的に考えた場合には、延長的な割合で大きく占めるのが市町村道であり、その大部分は生活道路であります。
- ・道路は、現在の場所から目的地までを結ぶ連続した通行の確保が必要な施設であります。多くの場合には、道路の規格や管理者などが違う道路を通行して移動をすることになります。
- ・このようなことから、規格や管理者が異なっても、連続した道路として、一定の管理や安全性を確保された道路が求められます。

②－１ 地域の現状と抱える課題

- ・市道として管理している道路の大部分は、幹線道路と位置付けていない、生活道路としての規模の道路となります。
- ・当市において、道路行政に対して寄せられる要望の大部分は、舗装の修繕や現状道路幅員の確保のための路肩整備工事、排水機能の確保や補修などの維持修繕に当たる内容です。
- ・国などの補助事業にて道路整備をするには、市道であっても改築的な事業が対象であり、施設の維持管理的な事業や機能の現状維持などの生活道路の機能確保として望まれる内容では、補助事業の対象にはなりません。
- ・改築的な事業は用地買収を伴うこともあり工事内容は比較的大規模で事業費も多大となりますが、市民が要求するものの大部分は、その様な大規模な工事ではなく、維持修繕的な工事内容が多くなっております。
- ・維持修繕的な工事は単独事業費で行っていますが、近年の財政事情の中、年々その予算は減少しております。
- ・新しく出来た道路以外の生活道路の多くが維持できない状況になりつつあります。
- ・道路管理や道路整備に要する費用は地形的な特性が大きく影響します。起伏に富んだ地形では、縦断勾配の緩和のため、橋梁やトンネル等の施設が必要になるほか、道路幅員確保のために土留工事等の費用も必要になり、その財源の確保が厳しい現状にあります。

今後の道路行政についての意見・提案

②－2 地域の目指すべき将来像

様式③

神奈川県三浦市

- ・幹線道路の促進を図る事と同時に、生活道路の安全性、機能の確保をしていく対策が必要となります。
- ・そのためにも、ライフラインの工事に伴って行われる道路施設の維持修繕的な事業を補助事業の対象とするなどの対策により、一度の工事で道路全体の整備が完了されることが望まれます。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項

様式④

神奈川県三浦市

道路整備及び必要な財源の確保の要望

1. 三浦縦貫道路について、地域高規格道路の候補路線から計画路線への早期昇格及びⅡ期区間の早期整備
 - ・三浦縦貫道路は、現在、Ⅱ期区間の先行整備区間(約1.9km)について、鋭意事業が進められておりますが、当道路は、三浦半島南部に位置する本市にとって、横浜横須賀道路へのアクセス強化、基幹産業である農業・水産業(漁業)の活性化、さらに観光振興に必要不可欠なインフラであり、早期に全区間が供用開始出来ますよう要望します。
2. 道路整備を計画的に推進するための必要な財源の確保
 - ・今後も厳しい財政状況が続くことが見込まれますが、必要な幹線道路の整備を計画的に推進するためにも、引き続き、安定した道路財源を確保することを要望します。

その他必要とされる主な幹線道路等の整備について

○都市計画道路西海岸線の早期整備

- ・本市の水産業の拠点である三崎港や新たに昨年度より販売が行われている三崎水産物流通加工業務団地から、三浦縦貫道路に連結するためには、南北に結ぶ都市計画道路西海岸線の役割がますます期待されておりますので、できるだけ早期の事業着手が必要不可欠となります。

○市民生活の観点からの交差点改良整備並びに道路改良

- ・三浦縦貫道路Ⅱ期区間先行整備区間が接続する市道14号線と、国道134号との既存交差点付近では、新たな渋滞対策として、付加車線の設置を含めた交差点改良整備が必要不可欠となります。
- ・市民生活の観点からみた喫緊の課題として、県道215号上宮田金田三崎港の江奈湾付近では、過去にも死亡事故も発生していることから、今後の道路改良工事を実現することが必要不可欠となります。